

気候変動を踏まえた新たな取組の方向性【土岐市】



みんなが暮らす土岐川・庄内川

- これまでの「庄内川水系流域治水プロジェクト」に基づく取組を継続するとともに、気候変動に伴う水害リスクの増大に備え、新たに河川監視カメラの設置に取り組みます。
- また、引き続き協議会構成員・オブザーバーが一丸となって『河川や流域での対策』や『流域治水への理解や参画を促す取組』を継続的に推進していくことにより、流域の安全・安心と持続的発展を目指します。

河川監視カメラの設置により、河川の水位をいち早く把握し、洪水被害の軽減・人命救助に繋げる。

概要

- ・洪水危険箇所、洪水脆弱地区の河川をリアルタイムで監視することで、水位の急激な上昇に対し、迅速かつ的確な避難指示、警戒情報等の情報発信を行うことができるようになる。
- ・河川の映像の配信により、市民が自主的に、水害対応・早期避難行動を起こすことができるようになる。

設置予定箇所

監視カメラの効果を最大限発揮できるように、監視エリアを選定

- ・洪水危険箇所、洪水脆弱地区（過去の情報・データから）
- ・支流への逆流を防ぐ樋門の設置箇所付近
- ・越水を防ぐ陸閘の設置箇所付近

期待される効果

- ・河川映像の配信で、市民は早期避難行動に必要な情報を、いつでも安全な場所で取得することができる。
- ・水防態勢時にも、安全な場所で遠隔から監視でき、職員の身の安全を確保しながら対応することができる。
- ・樋門、陸閘の開閉判断を、現場職員の目視だけでなく、遠隔からも多くの目で判断が可能となる。
- ・非常時のみならず平常時においても、河川流況や河川管理施設等の状況を確認できる。

計画の概要

令和6年度から7年度に、河川監視カメラの設置を検討している。

・設置予定箇所のイメージ



・支流への逆流を防ぐ樋門の設置箇所付近



・周囲への越水を防ぐ陸閘の設置箇所付近



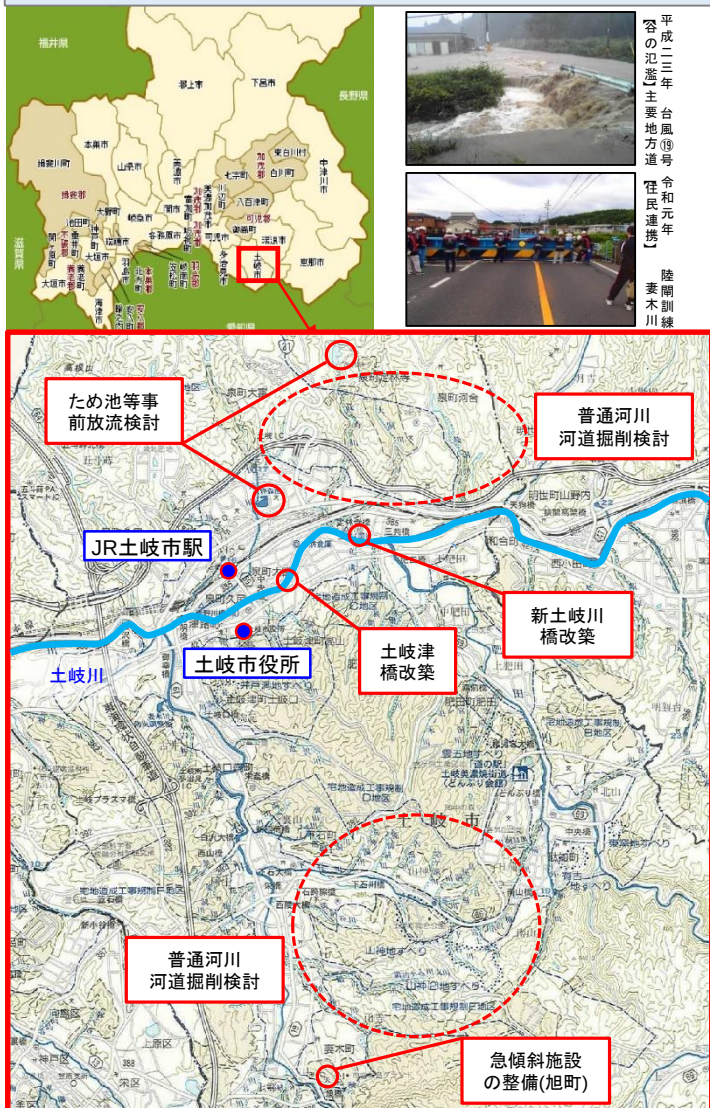
・過去に越水したことのある危険な箇所

※具体的な事業計画については、実現に向けて検討してまいります。3

【土岐市の流域治水対策】



土岐市では、**【上流域の自治体として雨水流出抑制に努め、市民の防災意識向上を目指す】**
森林保全やため池貯留等による雨水流出抑制、災害図上訓練や小学生を対象とした防災教育による
防災意識の向上に努める。



平成三年 台風(号) 令和元年 台風(号)
答の記述(主要地方道) 住民連携
陸奥川

対策メニュー

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
- ・普通河川での河道掘削
- ・橋梁改築
- 流出抑制対策
- ・民間開発による貯留施設設置指導
(開発行為に対する流出抑制指導(貯留・浸水施設))
- ・ため池等の活用
(既設貯留施設(ため池等)の事前放流)
- ・森林保全
(間伐等森林の整備による洪水緩和機能の保全・強化)
- 土砂災害対策
- ・砂防施設の整備
(急傾斜施設の整備(妻木旭町で実施中))

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
- ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知
(自治体タイムライン作成・周知(随時見直し))
- ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
(高齢者等の避難確保計画の策定の推進)
- ・関係機関との連携
(関係機関との連携(土岐川流域新五流総地域委員会))
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
- ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進
(住民防災意識向上のための取組(小学生対象の防災教育))
- ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
(ハザードマップの作成・活用(災害図上訓練の実施)、住民連携による施設維持(点検および操作訓練))
- ソフト対策のための整備
- ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設
(普通河川に於ける危機管理型水位計及び監視カメラの設置)

【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
- ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池の事前放流)
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
- ・小中学校などにおける河川環境学習

短期

中・長期

※短期目標は5年程度、中・長期
目標は10～20年程度を想定

